

みんなとともに笑顔いっぱい



みんなとともに



県の義務教育課の方にある会で会った際に、「清明小学校のPTAの広報誌を見させてもらいました。家庭学習のことを具体的に取り上げていて素晴らしいですね。課内でも評判でしたよ。」とのことでした。「それは広報委員会の企画で、本校の保護者の方の意識が高いからです。」とお伝えしましたが、県教育委員会の中核の方々にも認められるなんて、とてもうれしいことですね。



「秋の遠足」ーフォレストパークあだたらー

9月12日(水)、幸いにもこの日は青れ。森の案内人9名の皆様にお世話になり、フォレストパークあだたらで「自然観察」と「オリエンテーリング」をしてきました。

縦割り班での活動でしたが、6年生がリーダーシップを発揮してくれたお陰で、とても充実した活動を行うことができました。

御礼のあいさつで、6年の富樫歩実果さんが「来る前よりも自然がずっと好きになった」という話をしていました。子どもたちは学校の中だけではできない貴重な経験をしたと思います。

家に帰ってから、どんな話をしましたか？



※ 本校「webページ」には「シェイクアウトふくしま」「交番教室」などの記事も載せていますので、ご覧ください。

【校長のつぶやき】その8 「たかが“くつそろえ、されど“くつそろえ”」

先日のフォレストパークでのこと。帰る際に、森の案内人の方が私にこんな話をされました。

「子どもたちが森林館のトイレに行くときに、玄関にシューズを揃えて脱いでいましたよ。家や学校で指導をしていないとできないですね。」

最近めっきり涙腺の弱くなっている私は、この話を聞きながら込み上げてくるものがありました。

本校では、「昇降口の下駄箱の端にシューズのかかとを揃えること」を指導しています。全員がそこまで心を配ることができるようになると何かが変わる、と考えるからです。一段高みに上るようなイメージです。

そんな姿を学校以外で見ることができたことが、とってもうれしかったのです。

たかが“くつそろえ”、されど“くつそろえ”。これからの子どもたちのさらなる成長が楽しみです。